

「体育原理研究」第33号目次 (平成15年3月31日発行)

研究論文

- ・ゲーム再構成化の現代的局面について (土田了輔、直原 幹)
- ・体育学における人間学的議論とその人間学的認識一形式
——Spranger, E. と Guardini, R. の人間学的親和性から—— (阿部悟郎)
- ・ウォーキング教育に関する研究——歴史的検討を通じた現代における可能性について——
(室星隆吾)
- ・新しい「体育における人間形成」試論——道徳的問題の背後としての「身体性」の検討——
(石垣健二)
- ・体育・スポーツ教育における「感性」の研究
——日本体育・スポーツ哲学学会のシンポジウムにおける演者報告に基づいて—— (小林日出至郎)

研究報告

<定例研究会より>

- ・教養教育における身体性——学び方を学ぶ場に向けた体育の再構築—— (宮前佳世)
- ・2002 SLC Winter Olympic Games の開会式——WTC flag の入場問題—— (舛本直文)
- ・スポーツとゲームの創造——ゲームづくりの実践から—— (深澤浩洋)

<夏合宿研究会より>

- ・スポーツ報道における記号の解釈について——G. Lakoff の認知意味論を手がかりに—— (酒井佑樹)
- ・ニーチェの「ツァラトゥストラはこう言った」における身体と精神の関係 (高田哲史)
- ・2002年ソルトレイク冬季五輪開会式の文化プログラム "Light the Fire Within" の解釈 (舛本直文)
- ・メディアのフェアプレイ——夏期合宿研究会特別講演傍聴記—— (深澤浩洋)

<日本体育学会第53回大会専門分科会シンポジウムA報告>

- ・大学体育の思想——現代の教養再構築へ体育学からの挑戦——
- ・提案趣旨 (関根正美, 深澤浩洋)
- ・総合的判断力育成の可能性を求めて (林 英彰)
- ・教養・身体・体育——新しい教養・身体教育・職業としての体育学—— (鈴木康史)
- ・あいまいな教養の体育——ディシプリンと教育は誰のために、何をめざしたものか—— (篠田邦彦)
- ・討論のまとめ (関根正美, 深澤浩洋)

<日本体育学会第52回大会専門分科会シンポジウムB報告>

- ・ドーピング問題を哲学する (畑 孝幸)
- ・(1) スポーツ思想研究の視点から (木村真知子)
- ・(2) スポーツ倫理研究の視点から (近藤良享)
- ・(3) スポーツ史研究の視点から (稲垣正浩)
- ・(4) 資料

- ・提案の趣旨 (畑 孝幸, 友添秀則)
- ・スポーツ思想研究の視点から (木村真知子)
- ・スポーツ倫理研究の視点から (近藤良享)
- ・スポーツ史研究の視点から (稲垣正浩)

事務報告 (分科会事務局)